

# たんぽぽだより

2004年 11・12月 NO25

日本共産党 川西市議会議員 黒田みち

市政にたいする要望・ご意見をお寄せください。

日本共産党川西市議会議員 黒田みち  
〒740-1111 (内線4020)  
FAX 759-1811



## 住民福祉の充実を

自治体の仕事は住民福祉の増進です。この立場で、税金の使い方はどうだったのか、一般会計決算審査で日本共産党を代表して黒田議員が討論しました。

黒田議員はまず、財政が逼迫しているおり、むだで見通しのない大型開発はやめるべき、と指摘しました。

## むだな開発中止を

中央北地区開発については皮革工場廃止を前提に物件・生活補償費の調査を03年度に実施。調査結果をもとに89億円もの補償費（当初は54億円）が支払われるようとしています。また、全体の見通しをもたないまま、30年の変動金利ローン138億円（返済総額予定209億円）を借り入れ来年度から土地の借り上げなどに踏み出そうとしています。

造成・建設費総額が220億円にのぼる1市3町の広域ごみ処理施設の建設計画についても当初予定の3倍の土地（33,8ha）を購入するなど問題はいくつもあります。

## 不公平が存在する

黒田議員はまた、税の公平化、適正化、受益者負担といいながら倉羅林山の固定資産税、都市計画税の滞納が9億円余に達していることや皮革工場の下

# 税金の使い方？！

誰のために使う？？

平成15年度一般会計（451億円）終了  
特別会計（379億円）

水道使用料の免除は年間6500万円にもなり、S団地入居者は市の土地を無料で駐車スペースとしていたり、市が借り上げている土地が1m<sup>2</sup>あたり400円と高額の値段の場所があることを指摘しました。

## 福祉削減、ごみ有料化も

その一方で、下水道の値上げなど福祉の削減が大規模に進んでいます（別表）。粗大ごみの有料化も具体化し、一般ごみの有料化も視野に入っています。

黒田議員は「見通しのない土地をどんどん買い、開発にはけた外れの大判振る舞い。市民には赤字を押しつけて料金値上げと有料化の嵐。今まであった施策も切り捨て。こんな市政をかえなければ」と語っています。

## 市民ひとりあたりの負担額

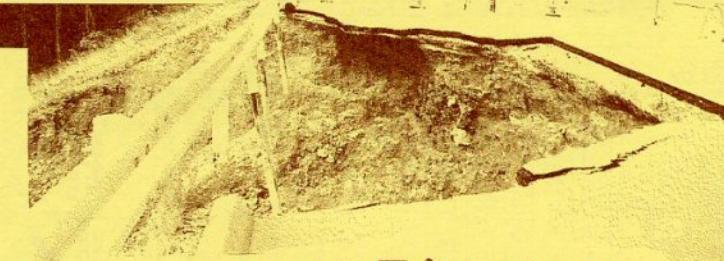
2004年度

9億5000万円の負担増！

●下水道料金値上げ	3億5580万円
●国保税値上げ	2億 965万円
●市民税均等割値上げ	2921万円 <small>500円 値上げ</small>
●敬老祝金廃止	1515万円
●留守家庭児童	
育成クラブ有料化	2700万円
●母子・身障等医療費助成の	
所得制限の強化	2216万円
●団体補助金一律カット	7954万円
●芸術・文化・体育施設等	
使用料の値上げなど	1249万円

川西西友前では41326円（2回分）  
能勢口通路では5115円  
募金が集まり、被災地へ送りました。  
ご協力ありがとうございました。  
引き続き、支援活動をしていきます。

川西市黒川国道崩落現場



## 台風・地震のお見舞い申しあげます

台風23号は京都北部や兵庫県北部で大きな被害をもたらし、避難所生活をされている方があります。新潟中越地震でも被害は大きく、避難所でまだまだ続く余震におびえる毎日を送られています。

國の早急な対応や一日も早い復旧を願わずにはおれません。

川西市では黒川で国道の崩壊による土砂灾害、笹部や多田では冠水による浸水被害等が起きました。

練木恵子県会議員と市会議員団は現地に入り、国道を調査の上できるだけ早く片側通行できるようになると回答を受けています。



議会へ送っていただきてから3年目を迎えることに感謝申し上げます。

たんぽぽだよりの題字にあるように「みんなが住んでよかった」と思える街づくりに全力をあげています。

## 2年がたちました！

地域のかたの声をきき、共感し、街づくりに生かせるように粘り強く取り組んでいきたいと考えています。

誰もが「大切にされている」と実感できる温かい川西市をめざしていきますのでご支援・ご指導よろしくお願いします。



豊岡市で台風被害を受けた

ビニールハウスの片付けをする  
川西・猪名川議員団

☆生ごみ処理機やコンポストなどの購入に対して市の半額助成制度があります。

限度額は1万円。電話などで予約が必要です。

リサイクル推進課 759-4240

☆児童手当法が改正され、小学校3年生終了まで拡大になります。所得制限などありますがまだ申請されていない人は急いで手続きを。

すこやか子ども室 740-1179

# 「福祉のため」というが…

政府税調が消費税の二ヶタ増税へ向け本格的な議論をはじめました。消費税論議のたびに増税派から持ち出されるのが「福祉」。そのため、「財政が大変だから」という理由です。これは、どこからみても通用しません。

「消費税(率引き上げ)の議論は避けられない」という政府税調の石弘光会長(二十一日の税調総会後の記者会見)。その

理由は、社会保障の財源づくりでした。

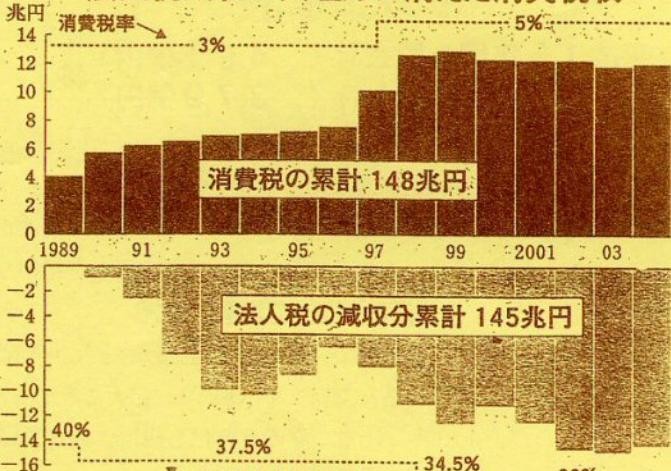
これが口実にすぎないことは、過去の実績をみれば明らかです。

一九八九年に税率3%で導入された消費税。当時も化社会の対応(八八年四月、政府税調の中間答申)、

導入の理由の一つは「高齢化社会の対応」であります。これが口実にすぎないことは、過去の実績をみれば明らかです。

これが口実にすぎないことは、過去の実績をみれば明らかです。

## 法人税減収の穴埋めに消えた消費税収



2002年度までは決算額。03年度、04年度は予算見込み額。消費税は、国と地方の税収合計。法人税は、ピークだった1989年度を基準として各年度の法人三税の減収分の合計

## 「財政再建のため」というが…

消費税増税のもうひとつ口実は「財政再建のため」というものです。

日本経団連が発表した消費税増税に向けた新たな試算(十三日)は、消

費税を増税しなければ今でも大変な財政は大破するといふもので

した。

消費税増税に向けた新たな試算(十三日)は、消

費税を増税しなければ今でも大変な財政は大破するといふもので

した。

消費税が導入された八九年に、約三百五十四兆円だった国と地方の長期債務(借金)残高は〇四年度には七百十八兆円(当初予算)にまで膨れ上がりました。国民一人あたり約五百六十万円になります。

この間に何があったのでしょうか。バブル崩壊後、の長期不況が続いた九〇年代。政府は「景気対策」の名で大手ゼネコンが喜ぶ公共投資を相次いで積み増してきました。

消費税が導入された八九年に、約三百五十四兆円だった国と地方の長期債務(借金)残高は〇四年度には七百十八兆円(当初予算)にまで膨れ上がりました。国民一人あたり約五百六十万円になります。

この間に何があったのでしょうか。バブル崩壊後、の長期不況が続いた九〇年代。政府は「景気対策」の名で大手ゼネコンが喜ぶ公共投資を相次いで積み増してきました。

## こうしてこそ社会保障充実や財政再建の道も開ける

消費税の増税は、個人を冷やし、物が売れなくなつて企業業績が悪化し、税収が落ち込んで、財政が悪化し、また消費税の増税に頼るといふ悪循環を招くだけです。

消費税増税がいかに、景気の足を引っ張るかは、橋本内閣が九七年に国民に押し付けた消費税増税と医療改悪などの九兆円の負担増の影響をみて明らかです。消費税をいまのまわり10%に引き上げたら、兆円の負担増となりますが、小泉内閣のも

うです。大企業・大銀行の応援を優先させるゆがんだけです。

日本共産党は、消費税増税に頼ることなし、社会保障の充実や財政再建の道をすすめることを提起しています。それは大企業・大銀行の応援を優先させるゆがんだけです。

# 消費税増税二つの口実



というものです。

福祉は充実されたのでしょうか。導入後十五年、

政府は、医療、年金、介護など、社会保険制度を

相次いで改悪。(○五年度予算編成でも社会保険費の自然増分を三千二百億円圧縮する方針です。

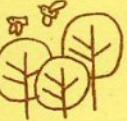
では、消費税で集めた税金はどこへ消えてしまつたのでしょうか。

八九年の導入時から、税金はどこへ消えてしまつたのでしょうか。

予算編成でも社会保険費の自然増分を三千二百億円圧縮する方針です。

では、消費税で集めた税金はどこへ消えてしまつたのでしょうか。

八九年の導入時から、税金はどこへ消えてしまつたのでしょうか。



「しんぶん赤旗」  
9月26日付より

しんぶん  
**赤旗**

日刊●月2,900円  
日曜版●月 800円